平成30年3月6日

研修報告書

氏名：坪内　万祐子

所属：京都市立病院

研修期間：平成29年4月　　日　～　平成　30年3月　　日

研修場所：京都大学　インテンシブコース

受講動機：

実臨床に携わる中で、胎児出生前診断をはじめとした遺伝相談を受ける機会があり、また稀な染色体異常や、先天性血栓性素因のある姉妹の妊娠分娩管理、家族性のアンドロゲン不応症、家族性悪性高熱症患者等を担当したこともあり遺伝学的事項について一層関心を抱く様になりました。

産婦人科一般臨床を一通り経験し、改めて最新の基礎医学的知識を学びたいと感じていたこと、また発展目覚ましい遺伝学的知見をUp-dateしていきたいと思い、遺伝医学セミナーなどにも参加しておりました。

臨床遺伝専門医取得を目標としておりましたが、所属施設は認定研修施設ではなく、直接ご指導頂ける本講座は絶好の機会と思い、応募に至りました。

研修内容：

月に1-2回の遺伝カンファレンスレクチャーへの参加

研修成果：

京都大学遺伝カウンセラーコースに在籍する大学院生の方による症例提示・討論を拝聴し、遺伝子診療部で実際に行われている診療の様子がよくわかりました。個々の症例に応じ、家庭状況や社会的背景を踏まえながら時間をかけて丁寧に相談を進め、不安を抱えた相談者が十分な情報提供を得て一定の理解、安心を得られることは非常に有益だと感じました。

この様な専門的な遺伝カウンセリングは私が所属する施設では現状行われておらず、貴重な学びの機会でした。

また、各回様々な領域からの招聘講師の先生からの専門的なお話も非常に興味深かったです。

その他（感想・要望・反省点、等）：

貴重な機会を与えて頂きましてありがとうございました。

受講申し込み当初は勤務に比較的ゆとりがあり、各回参加させて頂いておりましたが、その後常勤の退職が相次ぎ、勤務の負担が増え、現在参加が困難な状況が続いています。しかし、今後もタイミングが合えば参加させて頂きたいと思いますので、継続して受講させて頂けますと幸いです。